

# 釜ヶ崎解放

1983年5月25日

今晩七時より市民館で集会  
怒りを！更に怒りを！

釜ヶ崎・争議団

西成区萩の茶屋2-5-23-2階

電話 638-14273

## 反撃準備のために集まれ！

### アブレサセ獄打破・南署の人権侵害糾弾……

はんげき じゅんび のため に集まれ  
反撃準備のために集まれ！

アブレサセ獄打破・南署の人権侵害糾弾……

状である。

釜ヶ崎の人口は、一九六〇年現在

## 甲塵差別抹殺攻撃糾弾

### 我らの上に覆い かぶさるもののは何か

日本の國家財政は赤字続

きで、にせかわらす、口  
ンだのヤスだのと外面ばかり  
りにせかわらす、獨占企業体

五年から七年の間に、五千人増え、急膨張している。  
それ以前には、一九五〇年から六年の十五年間かけ  
て五千人が増えている。

万博を成功させよう

のかけ声で急膨張せられ

た釜ヶ崎は、その後、公共投資の波によつて翻弄され  
続け、多くの仲間は、家庭

を性を奪われたまま、必要

な時だけの労働力として利

用されてき、年老いた。に

もせかわらす……。

## 福祉切り捨て・浮浪者・差別攻撃の示すもの 反失業・反差別・反侵略の闘いを

市立更生相談所へ、医療

センターの診断書をもつて

相談に行つても、あんたは

まだ働けるとか、他にも

大勢の人が相談に来てるか

ら、というような理由にな

らない理由で措置をこばん

りものは正規でない、と今

更のことく言ひたて、休業

玉出社会保険事務所は、

健康保険印紙を貼つていな

いものは正規でない、と今

# 今晩夜7時 市民館に集まろう!

差別抹殺攻撃を逆に  
われらの武器として闘おう!

補償切りつめ 新規取  
得者を不当に制限してい  
る。国会では日雇健保の  
廃止が論議されようとして  
いる。

昨年末から今年初めに  
かけての臨時宿泊所(南  
港)は年々縮少されなか  
らも、千三百名の仲間が  
たか、今年末はその廃止  
がもくろまれている。

心斎橋・ワシントン軒  
店の前で会った大先輩は、  
大淀区生まれ、十六、七  
勤め、敗戦後は、戦後の  
オの時に大阪砲兵工廠に  
復興計画で資金と人が集  
中した炭坑で働いた。工  
エネルギー革命、黒い羽根  
募金の時代、朝鮮戦争

で港湾特役が活躍化し始める

や沖仲仕として神戸に移る。

年をとり、沖仲仕がこんど

くなつてきいた昭和三十七年、

金ヶ崎にくる。そこで、つ

い最近まで飯場で働いてい  
たが、仕事がなくなり、市

更相もとりあつてくれな  
ので、一一で青カンしてい  
る、と話してくれた。

## 使い捨てと浮浪者 差別

単身者として、使いたい  
場所で使える安い労働力と  
して、使いほつだりに使わ  
れてきた我々日雇労働者は、  
慢性的不況下で増え続ける  
失業者の存在をもつて、今  
まである人々に、まだ、あそこま  
でではない、ああめなりた  
くない、という意識を生き  
たてる材量の役目を押しつ  
けられている。

そして、現代の高まる  
なんとはなしの不安感の即  
時の絶滅感として、少年達  
に、やラリーマンになぐ  
られ、けられる。

か極めて現れ、また、よく見  
よる青カン者警撃事件であ  
り、南署による不法な空真  
撮影、指紋採取であり、富  
永病院の患者放り出し殺人  
事件である。前での釜の仲間にに対する  
少年達の襲撃事件である。  
今世にみちあふれる不安感、それを肌に感じ、動搖  
している人々、彼らの人々が、今の体制によつて得  
するやつらによつて、我々  
に差別意識をもつておかつ  
てきている。

大衆の不安、動搖は正し  
い。我々は抗議することに  
つづて、共闘の手をさしの  
べることによって、世直し  
の先兵となりうる位置にい  
る。反撃準備のため集まろう!